

小学部



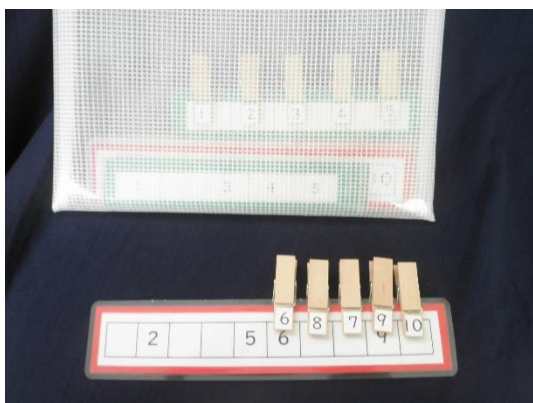
<時刻しらべ>

効果・おすすめポイント

- ・時計の正時の読み方を知る。

使い方

- ・模型の時と並行して使用する。
- ・時計カードと時刻カードを対応させることで正時について理解を深める。



<数字のマッチング・ならべる>

効果・おすすめポイント

- ・数字のマッチング
- ・数字の並びが理解できる。

使い方

- ・数字がすべて入っている物や空欄になっている物を児童の実態によって、どちらか提示し、数字のクリップを1から順につけていく。



<洗濯ばさみで1.2.3.4.5！>

効果・おすすめポイント

- ・1～5の数字と数量の関係を身につける。

使い方

- ・1～5のカードについている色と同じ色の洗濯ばさみをつける。



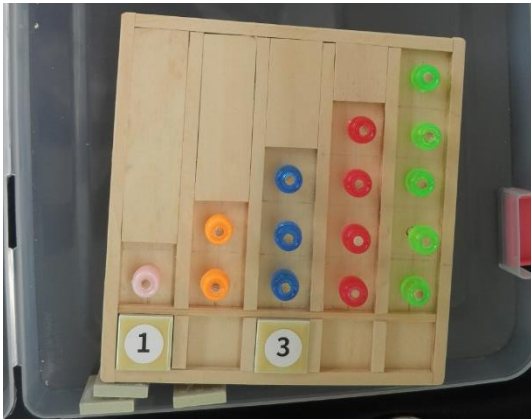
<玉ひも>

効果・おすすめポイント

- ・注視する力を高める。
- ・操作しながら数を数える経験を積む。

使い方

- ・左から右、上から下、斜めなど、球を一つずつ動かす。



<数字のペグさし>

効果・おすすめポイント

- ・数字と数量のマッチングをペグさしを通して図る。

使い方

- ① 1～5まで左からタイルを並べる。
- ② トレーに色ごとに置分けたペグを数字、数量を確認しながらさしていく。



<ケーキを作ろう>

効果・おすすめポイント

- ・順番に待つことができる。
- ・友達に注視することができる。
- ・友達に祝ってもらい嬉しさを味わう。

使い方

- ・1人1個ずつイチゴを持って、順番にケーキに飾っていく。マジックテープのところに置いてもよし、フェルトのところに置いてよし。
- ・ろうそくをつけて、暗くするとより注目できる。



<プットアウト>

効果・おすすめポイント

- ・手指を使う
- ・目と手の協応
- ・終わりが分かる

使い方

- ・箱の中から、ネットを引き出す。
- ・全てなくなったら終わり。



<色弁別>

効果・おすすめポイント

- ・手先の動き
- ・目と手の協応
- ・色の理解

使い方

- ・丸シールの色と同じ色のボールを入れる。



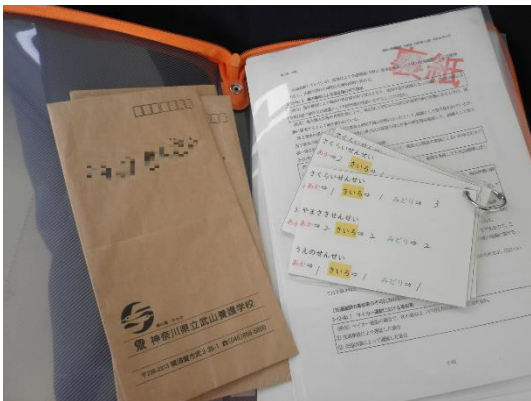
< スポンジのマッチング >

効果・おすすめポイント

- ・一対一対応ができる。

使い方

- ・スポンジを1つずつ入れる。



< ふうとう入れ >

効果・おすすめポイント

- ・簡単な指示を読み、作業ができる。

使い方

- ・赤、青、緑のファイルから指定された枚数を折り、封筒に入れる。



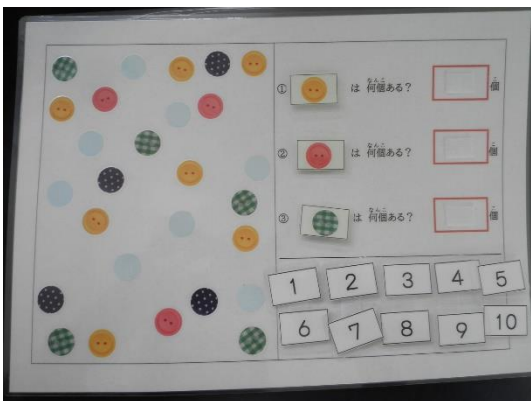
< ロリポップスティックのプットイン >

効果・おすすめポイント

- ・手指の巧緻性を高める。
- ・目と手の協応を高める。

使い方

- ・ロリポップスティックを容器に入れる。



< 数を数える >

効果・おすすめポイント

- ・複数あるの中から指示されたものを選び数えることができる。

使い方

- ・指示された模様を数える。
- ・正しい数を選んで貼る。



< ボールとつみきの弁別 >

効果・おすすめポイント

- ・形や感触にちがいに気づく→分類する。

使い方

- ・ボールは丸いコップ、つみきは四角いケースに入れる。
- ・つみきは、丸いケースには入らない。



< ストロウのプットイン >

効果・おすすめポイント

- ・手指の巧緻性を高めると共に穴を注視する力を養う。

使い方

- ・左手で入れ物を押さえ、1本ずつ入れる。



< 動作マッチング（言葉と絵） >

効果・おすすめポイント

- ・いろいろな絵と動作の言葉がマッチングできるようになると、動きの指示を聴いて、一人で取り組めるようにする。

使い方

- ・動作の言葉を真ん中に貼っておき、その言葉にあう絵を上下に貼ってマッチングさせる。



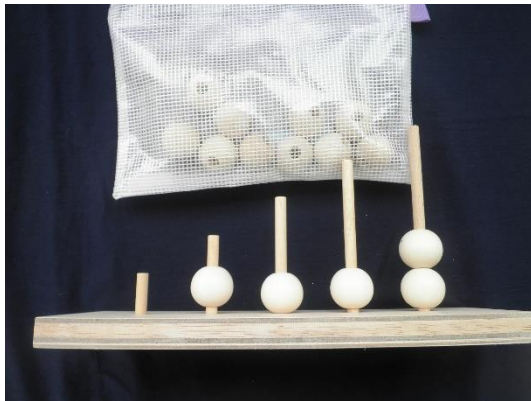
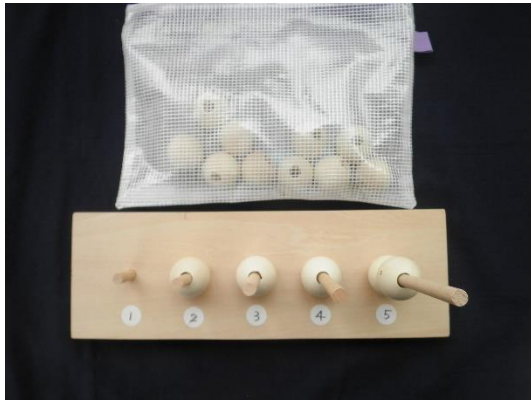
< ラーメン体操を踊ろう！ >

効果・おすすめポイント

- ・ポーズのイメージが持てる。
- ・次の動きが分かる。

使い方

- ・ホワイトボード等、見やすい位置に掲示する。



<ウッドビーズさし>

効果・おすすめポイント

段階① 目と手の協応、手指の巧緻性を高める。

段階② 順番の理解

段階③ 数量理解

使い方

段階①

- ・棒を1つずつ渡し、穴にさす。
- ・ウッドビーズを棒に通す。

段階②

- ・棒を一つずつ順番に穴にさす。実態に応じて棒を1本ずつ渡したり、さす穴以外を隠したりする。
- ・ウッドビーズを1のところから順番にさす。該当のところ以外に入れようとする場合は、棒の上部を手や洗濯ばさみでふさぐ。

段階③

- ・段階②実施後に、数量を確認する。



<からだの名称>

効果・おすすめポイント

- ・分からないときは、自分でめくって確認し、鏡でも確認することで、自分の身体と照らし合わせて覚える。

使い方

- ・イラストを見て名称を言い、めくって確認する。
- ・鑑を見ながら、自分の身体の部位を確認する。



<発音・発声・滑舌練習>

効果・おすすめポイント

- ・ひらがなが、ある程度読めるが、発声があやふやな児童にやってみた。
- ・休み時間に、自分で鏡を見ながら声を出す場面が出てきた。

使い方

- ①カード（口の開け方）を真似て発声。
- ②50 オン表（ひらがなカードと色を合わせたもの）を横列で練習。

	③口の形カードを見て、字を拾う。
--	------------------